

平成24年度 石狩市教育委員会会議（11月定例会）会議録

平成24年11月16日（金）

開 会 午後 1時30分

第2委員会室

○委員の出欠状況

委 員 氏 名	出席	欠席	備 考
委員長 中 村 照 男	○		
委 員 土 井 久美子	○		
委 員 門 馬 富士子	○		
委 員 松 尾 拓 也	○		
教育長 鎌 田 英 暢	○		

○会議出席者

役 職 名	氏 名
生涯学習部長	百 井 宏 己
生涯学習部次長	柴 口 史 子
総務企画課長	上 田 均
学校教育課長	蛭 谷 学 俊
社会教育課長	東 信 也
文化財課長	工 藤 義 衛
厚田生涯学習課長	池 垣 旬
浜益生涯学習課長	尾 崎 巧
教育支援センター長	西 田 正 人
特別支援教育担当課長	森 朋 代
市民図書館副館長	丹 羽 秀 人
市民図書館副館長	板 谷 英 郁
学校給食センター長	伊 藤 和 哉
総務企画課総務企画担当主任主査	吉 田 雅 人
総務企画課総務企画担当主査	高 石 康 弘
社会教育課社会教育担当主査	樋 口 潤 作

議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名

日程第 2 議案審議

議案第 1 号 平成 2 4 年度一般会計補正予算（第 3 号補正）について

議案第 2 号 石狩市教育委員会の点検・評価報告書（平成 2 3 年度分）について

日程第 3 教育長報告

日程第 4 協議事項

- ① 平成 2 5 年度教育委員会予算要求について

日程第 5 報告事項

- ① 平成 2 5 年石狩市成人式の開催について
- ② 第 5 7 回石狩市民文化祭の実施状況について
- ③ 第 1 3 回石狩市民図書館まつりの開催結果について
- ④ 平成 2 4 年度蔵書点検結果について
- ⑤ 平成 2 4 年度「いじめ根絶！メッセージコンクール」管内表彰について

日程第 6 次回定例会の開催日程

開会宣告

（中村委員長）ただいまから、平成 2 4 年度教育委員会会議 1 1 月定例会を開会します。

日程第 1 会議録署名委員の指名

（中村委員長）日程第 1 会議録署名委員の指名ですが、門馬委員にお願いします。

日程第 2 議案審議

(中村委員長) 日程第2 議案審議を議題とします。

議案第1号の審議を秘密会とする件について

(中村委員長) 議案第1号につきましては、平成24年度一般会計補正予算(第3号補正)に関する件であり、教育委員会会議規則第15条第1項第5号に該当しますので、秘密会として後ほど審議いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、秘密会とすることに決定いたしました。

議案第2号 石狩市教育委員会の点検・評価報告書(平成23年度分)について

(中村委員長) 議案第2号 石狩市教育委員会の点検・評価報告書(平成23年度分)について、提案願います。

(鎌田教育長) 議案第2号 石狩市教育委員会の点検・評価報告書(平成23年度分)について、説明いたします。既に本報告書の原案については、各委員にお示しをし、ご意見をいただいたところですが、先般開催した石狩市教育委員会外部評価委員会の委員の皆様からの助言や意見を踏まえまして、最終的な報告書案ができあがりましたので、石狩市教育委員会事務委任規則第1条第16号の規定に基づき、議決を求めるものです。詳細については、事務局から説明いたしますので、よろしくご審議お願いいたします。

(上田課長) 議案第2号 石狩市教育委員会の点検・評価報告書(平成23年度分)について、ご説明いたします。本件につきましては、8月の教育委員会会議以降3回に亘って、ご協議をいただいておりますが、外部評価委員会委員のご意見をいただきまして、報告書の全てが整いましたので、改めてご説明をさせていただきます。表紙をめくっていただき、目次をご覧ください。報告書の構成につきましては、「点検及び評価について」、「教育委員会の活動状況に関する点検及び評価」、「平成24年度(平成23年度実施事業)事業評価シート」、「点検及び評価に対する学識経験者による意見について」の4部で構成しています。1頁の「点検及び評価について」及び2頁からはじまる「教育委員会の活動状況に関する点検及び評価」については、これまでご意見等をいただく中で、原案として取りまとめております。今回、お配りした報告書では、53頁から112頁まで

「平成24年度（平成23年度実施事業）事業評価シート」として30事業を掲載していますが、偶数の頁、例示として54頁をご覧いただきたいのですが、頁の中ほどから、課長評価（1次）、部長評価（2次）を記載してあります。部長評価の今後の方向性について、一番下の欄になりますが、「拡充、手法改善」など5つの区分になっていますが、手法改善が5事業、継続・維持とするものが25事業という内訳になっております。また、課長評価と部長評価では、30事業の内12事業について、今後の方向性の部分が変わっているところであります。続きまして、113頁をご覧いただきたいと思います。点検及び評価に対する学識経験者による意見についてとして、116頁まで4頁に亘って記載をしております。外部評価委員会委員については、任期が3年となっており、本年4月が改選期でしたが、委員長にはこれまでに引き続き、北海道教育大学の村瀬千樫さんをお願いし、副委員長に石狩ユネスコ協会事務局長の漆恵子さん、藤女子大学准教授の伊井義人さんに委員をお願いしております。この部分については、点検評価の実施にあたってということで、進捗状況の総括、課題や今後の取り組みの方向性についての内部評価と併せて、学識経験者の知見活用として、外部評価委員会から意見や助言をいただいたところであります。本委員会については、10月25日に開催し、13の項目に亘って、ご意見等をいただきました。

ここで、原案の一部修正をさせていただきたいのですが、本日お配りした1枚ものの資料をご覧ください。施策（大項目）8の地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実、分析・評価及び今後の方向性についてで、下線を付けて表記していますが、2行目の中ほど「魅力的な取組みを推進し」の前に「引き続き」の文言を加えることと、3行目の「また」以降、「同センターは、地域との交流などの連携を図り、複合施設としてのメリットが一層活かされるよう期待する。」と修正したいと思います。この箇所については、先般中村委員長よりご指摘があり、事務局において、文案を精査したところであります。113頁の意見の内容という部分になりますが、(1)の教育委員会会議等の活動状況について、(2)の教育委員会会議以外の主な活動状況について、(3)以降は教育プランの11の施策の大項目に対応する形で、それぞれの取り組み状況、分析・評価及び今後の方向性について、表の枠の中に記載をしております。このような構成で、平成23年度分の教育委員会の点検・評価報告書として取りまとめを終えたところであります。この点検・評価報告書については、本日議決をしていただけたら、市議会への報告として、資料の提出と市民への公表をすることとしております。説明については、以上です。

（中村委員長）ただいま、提案説明がありました議案第2号につきまして、ご質問等ありませんか。

質疑応答

（土井委員） 113頁から116頁までの外部評価委員の意見についてですが、これは毎年度、外部評価委員が評価していただいていると思いますが、この意見は、学識経験者が言っていることなのですね。教育委員会が言っていることではないですね。先ほどの原案一部修正についての説明で、教育委員長の指摘で、事務局が訂正したというような話があったと思いますが、ここは、教育委員会が記載しているということなのですか。私は今まで、ここの記載は学識経験者の意見が書いてあると認識していたものですから、ご説明をお願いします。

（上田課長） この意見欄の集約は、外部評価委員会の開催に先立ち、予め資料などを各委員に配布し、それぞれの委員からコメントをいただいて、3名の意見を会議の中で確認し合い、調整していただきながら、複数の意見を一定の方向性にまとめていただいております。

（土井委員） 各委員の意見が、ここの記載に網羅されているのだと理解していいのですね。そうしますと、教育委員長の指摘で文言を変えたという説明でしたので、教育委員長の意見がここに入っているのかと思ひまして、委員長がここの方向性を変えるというのは、よろしいのですか。

（百井部長） こちらに記載のコメントは、外部評価委員の方のご意見です。ご意見をまとめる際に、膨大な資料を事前にお配りして、時間をかけて、かなりきめ細かく見ていただいております。それでも詳細のところや事業の様々な背景については、なかなか見ていただくのが難しい部分もありまして、そういう部分を会議の中で事務局から説明をしておりますが、それでもなかなか行き届かない部分もあります。そういったところで、いただいた意見が、第三者、市民などから見て、少し分かりにくい表現になってしまう場合や、私どもの説明が十分でなくて、いただいた意見が、誤解を招くおそれのある表現になってしまう場合もあります。そういった点についての修正であれば、いただいた意見の趣旨を変えるのではなくて、表現を工夫して、より分かりやすくするようになどであれば、また、私どもの説明不足で、外部評価委員の方に十分伝わらなくて、もう少し細かい背景などを書き加えていただいたほうがよい場合などは、評価を変えない範囲内で表現を分かりやすくするために、事務局が外部評価委員と相談して修正をするということはさせていただいております。基本的には、外部評価委員の評価を変えるということはありません。

（門馬委員） 今、訂正の説明があった部分なのですが、ここについては、私も読んでおひまして、訂正前の「同センターの入る複合施設については・・・」という表現は分かりづらい、一体真意は何なのかと質問しようと思っていたところです。それで、今回、市民の方により分かりやすいように、下線のように修正することについては、趣旨を変えないで、文章が分かりやすくなるように工夫

して書きかえることがあるということは、当然のことだと思うのです。ただ、この修正案でも、私はまだよく分からないのです。複合施設としてのメリットがいかにされることと、地域の交流を図ることとは、別のことだという気がするのですが、ここで言っているのは多分、「学び交流センターは、星置の分校と一緒にしている。分校は地域の中で温かく見守っていくべき子どもたちが通って来る施設なので、そういう特質を理解したうえで、学び交流センターも一緒に事業を進めていきませんか」、という趣旨なのかなと思いながら「思いやりを実感できる環境づくり」という文章を読んでいたのです。せつくなので、そういう子どもたちへの理解、そういう教育に対する理解をより深めてもらいましょうということなのかと思って読んでおりました。そういうことではないでしょうか。

（東課長）基本的なところは、今お話いただいたとおりです。学び交流センターそのものは、23年4月に星置養護学校、それから児童デイサービス、それから生涯学習の場という形で複合的な施設として立ち上がりました。具体的な取組としても開所式そのものも合同で行いまして、その中では、センターを利用している方が、実際に器楽演奏ですとか、合唱していただくなど子どもたちとの交流を深めたということがございます。その流れを今後とも続けていくということを各機関も含めて共通の認識をもって進めているところでして、その点については、委員のお話と全く同質のものと理解しております。複合施設のメリットについては、今申し上げたように一つの学び交流センターという施設に異なる目的、趣旨を持った機関、団体が入っているということが、即ち顔を合わせる、または色々な機会を捉えて共通の事業ができることと理解しておりますので、例えば今年度の取組で言えば、春先に花壇の植栽作業を学校と一緒に行った事例もあります。そういった地道な活動をしながら、日頃のつながりを深めて、交流を深めていく、それがまさに、その部分を育むことだと考えておりまして、複合施設としてのメリットが深まっていくことを期待しているということで、こういう文章になったところです。

（門馬委員）それならば、もう少し言葉を補っていただいて、複合施設の前に星置養護学校のことを書いていただくと分かりやすいかと思います。この文章だけを読んで、複合施設の中に星置養護学校があると分かる人は少ないと思います。

（松尾委員）一点確認させていただきたいのですが、このコメントの修正をするということは、外部評価委員の皆様はご存知なのですか。

（上田課長）再度、その点については、調整させていただきます。

（松尾委員）私も今の議論を伺っておりまして、例えば門馬委員がおっしゃっています修正を施した方がより、実質に沿って分かりやすくなると思っております。ただ、それとは別に外部評価委員の方からいただくコメントですので、基本的には、そちらからいただくものだと思うのです。ここの部分に関しては、私どもが

どうだこうだということではないのかなと、外部の方からコメントをいただいているという性質のものだと。外部評価委員の方から、より実情に沿った表現方法に変えていただくということには異存ありませんが。一応、ここに関して私どもがあまり、こういう風に変えた方がいいという性質のものではないのかなと思います。

（中村委員長）基本的には、皆さんのおっしゃるとおりですが、この意見書のとりまとめは事務局でおこなっております。このため、本件の様に外部評価委員が高く評価してくださっており、一方学び交流センターも一生懸命取り組まれていますことから、双方の思いと違う表現になっておりましたので、私はその点を指摘し、この教育委員会会議で議論をして、再度外部評価委員にご相談しながら進めることは許容範囲と思っておりますが、教育長の思いは如何ですか。

（鎌田教育長）文言をどう捉えるかについては、日本語は本当に難しい点が多いと思います。今、事務局から説明しましたとおり、この部分については、外部評価委員の方の思いをどう表現するかのみ話ですから、その思いがより伝わるような表現の仕方を工夫していくことが正論かなと思っています。これは人によって捉え方が違ってくる部分もありますので、なかなか難しいのかなというのが率直な気持ちです。

（中村委員長）この文章については、私も門馬委員も同じ思いですが、誰でも同じような疑問を抱くような表現があり、前段を読めば、そういう思いで書いていないことが分かりますので、その思いが消えてしまっただけは、勿体ないと思いました。

（土井委員）この外部評価委員会をやっているときには、部長なり、東課長なりがきくと、その会議の場に一緒にいらっしゃるのであれば、そこでの委員の思いについては分かりますよね。その事務局が、その思いを酌みとって文章表現してくださっているだと、私は思っていたものですから、先ほど質問させていただいたのですが、ここの、「思いやりの実感できる環境づくりの推進」とは、どういうことなのかなと思いがちで、そして、この修正案が出てきたものですから、施設のメリットのことなのかなと感じたのですが、「思いやりの実感できる環境づくり」というのは、きっと委員さんたちの思いのつまっている言葉なのだろうと私も理解したのです。ただ、それをもっと分かりやすくして欲しいという気持ちは門馬委員と同じなのですが、やはり、外部評価委員さんの思いを大切にするというのは、事務局の方が一生懸命考えてくれたのだろうと思いました。やはり、委員さんの意見を最優先にと思います。

（門馬委員）114頁の一番下ですが、「また、厚田区・浜益区などでは、部活動等のスポーツ機会への配慮も含め、より良好な教育環境づくりへの配慮を期待する」という意見は、どういうことかなと思ったのですが、私の推測では、子ども

の数が少なくなっていて、また、スクールバスで通学しているので、部活動に制約がある、それから、人数が少ないので多数の人数でするスポーツの機会がなかなか得られないということも含めて、そこを配慮してくださいという意味かなと思っているのですが、いかがですか。

（百井部長）そのとおりです。地域間格差をなくして欲しいというのがベースで、さらに、浜益においては、過去からスキーが盛んでしたが、残念ながらスキー場が廃止となったということがありましたが、今でも増毛のスキー場まで行くなどやスキー少年団が盛んであり、地域でこれまで培ってきたものも残して欲しい、支援して欲しいというようなことです。特にスポーツ関係で特色を大事にして欲しいというような意見でした。

（門馬委員）同じ頁に学校ホームページのことが書かれていますが、毎月学校だよりというのも私どももいただいているのですが、保護者の方々はホームページを見るのと、紙の学校だよりを見るのとでは、どちら側が多く見るのでしょうか。ホームページの閲覧数は、多いものなのですか。

（百井部長）学校のホームページの閲覧数については、これまでデータをとったことはないのですが、学校関係者からの話では、かなり閲覧されていると聞いています。その裏返しに、やはり更新が十分にされていないところは見られていないという意見があるということは、逆にしっかり更新しているところは見られていると思います。子どもについてどうかというと、データもないので詳細はつかんでおりません。

（土井委員）私の経験では、退職してからは、色々な学校のホームページをよく見ます。普段仕事をしているときは、なかなか見る機会もないし、何か事件とかあれば見ると思いますが。父母の方は、学校だよりの方が多いいと思います。それも見ない人がいるから困るのですが。是非見て欲しいという願いで学校では作っているのですけれど、ホームページについては、ほとんど市民向けのサービスですね。

（鎌田教育長）おそらく、これからＩＣＴというのは、教育の部分でも広がっていかねばならないと思いますが、そのパソコンなどにまだ慣れていない、いわゆるアナログ世代の方がいらっしゃいますので、その方たちにも情報提供の中で学校だよりというのは、大切だと思います。逆に町内会の方に学校だよりもきますし、保護者の方だけでなく、地域の方にも、そういったものをお知らせするという、両方の中で進んでいくのかなと、これは仕方ないかなと思います。

教育委員会会議規則に「委員提案事項」の規定の整備に関する提案について（関連質疑）

(中村委員長) 議案第2号 石狩市教育委員会の点検・評価報告書に関連して、石狩市教育委員会会議規則には、種々規定されておりますが新たに、仮称として、「委員提案事項」に関する規定を整備していただきたく提案いたします。

提案理由についてですが、本日配布されております「石狩市教育委員会の点検・評価報告書」をご覧いただきたいのですが、2頁の下段にあります(2)に、「教育委員会会議での審議事項」というのがあります。教育委員会会議の付議案件は、石狩市教育委員会事務委任規則などに基づく議案等88件でしたが、その内訳は、①「石狩市教育委員会事務委任規則に基づく審議事項は53件」で、うち「議決案件38件」、「報告案件3件」、「承認案件1件」、「協議案件11件」となっており、さらに、②「同規則に規定されていない教育施策に関わる事業等の報告事項は35件」となっています。

この他に、教育委員の入念な調査検討に基づいた提案事項もある訳ですが、「教育委員会会議での審議事項」として、取り扱われていないのであります。市民や議会に報告する大事な「石狩市教育委員会の点検・評価報告書」の中に、教育委員が提案する事項が記載されていないのであります。ここに載せるのは、石狩市教育委員会事務委任規則などに基づく部分と、それ以外の報告事項に限定しているからであり、審議事項、協議事項、報告事項までが規則に載っていて、提案事項については、規定されていないのであります。これは、石狩市だけではなく他の市町村も同様に規定されていないのであります。

しかしながら、文部科学省では、「地方分権時代における教育委員会の在り方について」という「部会のまとめ」で、教育委員会に対して指摘されている問題点としては、①教育委員会は、事務局の提出する案を追認するだけ。②教育委員会が地域住民の意向を十分に反映したものとなっていない。③地域住民にとって、教育委員会はどのような役割を持っているのか、どのような活動を行っているのかが余り認知されていない、などとなっております。

これまで、石狩市教育委員は、様々な分野で入念な調査検討を重ね提案をしておりますが、頭に浮かぶものを2～3申し上げますと、例えば、CAPの予算化については、委員が提案したものです。また、食育についても委員提案がなされたものであります。更には、石狩市教育委員会会議規則に「審議事項」や「報告事項」を追加したのも委員提案なのであります。

委員提案については、石狩市教育委員会会議規則に、新たに「委員提案事項」を規定するなどして、平成25年度からの「教育委員会会議録」や「石狩市教育委員会の点検・評価報告書」に、登載できるよう取り組んでいただきたいのですが、事務局のお考えをお聞かせ下さい。

(上田課長) 委員長の提案につきましては、趣旨をしっかりと酌みとってまいりたいと存じます。会議規則等に盛り込む方法、あるいは、その他の方法がないかな

ど、会議録や点検評価報告書への登載に向け、今後の検討課題として対応させていただきたいと考えております。

(中村委員長) よろしく、お願いいたします。他に質問等がないようですので、議案第2号につきましては、今後委員提案についての検討を深めていただくこととし、原案どおり可決ということでよろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第2号につきましては、原案どおり可決しました。

日程第3 教育長報告

(中村委員長) 日程第3 教育長報告を議題とします。

(中村委員長) 教育長から報告をお願いします。

(鎌田教育長)

- 10月27日 第13回市民図書館まつりオープニング 市民図書館
第1回調べる学習コンクール表彰式 市民図書館
 - ・応募総数 359 点、3 部門 最優秀賞ほか 26 点表彰
- 11月 2日 管内教育委員会協議会教育長部会 江別市教育委員会
 - ・平成25年度校長採用及び教頭昇任候補者について
 - ・平成25年度当初校長・教頭人事異動協議について
- 11月 3日 緑苑台小学校学芸発表会
第25回いしかり菊花展表彰式 北コミセン
花川南小学校学芸発表会
- 11月 4日 石狩美術協会創立記念パーティー アートウォーム
会員 30 名
- 11月 6日 社団法人札幌北法人会石狩支部から A E D 寄贈
(同法人厚田支部から別に寄贈あり)
寄贈も加え、全小中学校に A E D 設置完了
- 11月 8日 平成24年度石狩市表彰式 りんくる
平成24年度石狩市優良事業所及び従業員表彰式 りんくる

- 11月11日 花川小学校学習発表会
南線小学校学芸発表会
第13回福祉芸能チャリティ芸能の集い 北コミセン
- 11月12日 第2回石狩教育研修センター組合教育委員会議
・教育委員長の選任について（委員長：月田江別市教育長）
・平成24年度事業の進捗状況について
・平成25年度石狩教育研修センター組合一般会計予算（案）
及び負担金（案）について
・平成25年度事業計画（案）について
・平成25年度センター組合議会第1回定例会予定案件につ
いて
- 11月14日 家庭教育講演会「えっ！生活リズムって そんなに大切なの？」
北コミセン
～見逃していませんか？ こどもの心のサイン～
講師：山谷敬三郎北翔大学教授
- 11月15日 11月定例校長会議
・新教育長としての講演

以上で、報告を終わります。

（中村委員長）ただいま、教育長から報告がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

質疑応答

（土井委員）11月14日の家庭教育講演会には、何人ぐらいの参加があったのですか。

（東課長）全体で68名の参加でした。

（土井委員）子どもの参加はなかったですね。

（東課長）2名が保護者と一緒に来ていました。

（中村委員長）他に質問等がないようですので、教育長報告を了解ということでよろしいですか。

異議なし

（中村委員長）ご異議なしと認め、教育長報告を了解しました。

(中村委員長) 以上で、日程第3 教育長報告を終了します。

日程第4 協議事項

協議事項①の審査を秘密会とする件について

(中村委員長) 協議事項①につきましては、平成25年度教育委員会予算要求に関する件であり、教育委員会会議規則第15条第1項第5号に該当しますので、秘密会として後ほど審査いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、秘密会とすることに決定しました。

日程第5 報告事項

(中村委員長) 日程第5 報告事項を議題とします。

① 平成25年石狩市成人式の開催について

(中村委員長) ①平成25年石狩市成人式の開催について、事務局から説明をお願いします。

(東課長) 平成25年石狩市成人式の開催について、説明いたします。石狩市成人式につきましては、1. に記載の趣旨に基づき、市と教育委員会が主催をし、今年度は、平成25年1月14日の月曜日祝日に花川北コミュニティセンターにて開催を予定しております。対象者数については、男性287名、女性270名の合計557名です。日程につきましては、14時にスタートで、オープニング演奏、開式のことば、主催者挨拶、来賓祝辞、祝電披露、さらには、恩師からのビデオレター、成人の誓いという流れで予定しています。恩師からのビデオレターは、これまでも好評をいただいておりますが、新成人が当時を振り返りながら先生からの熱い思いを受けとめ、成人への自覚を促すことにつながっていたものと考えておりましたが、今年度については、さらにその輪を広げ、新たに地域の

人々からの祝福のメッセージを成人に届けられるように、取組を現在検討しているところです。地域の人々は、商店や病院、近所の方々など日頃から挨拶を交わしたり日常的な付き合い、接点のある人々から有形無形の支えがあって、この成人の日が迎えられるものと私どもは考えております。そういった地域の身近な人々からの祝福メッセージをいただき、成人に届けたいと思っております。以上です。

（中村委員長）ただいま、事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

（門馬委員）最後におっしゃった、地域の人々からの祝福メッセージは、どんな形で、例えば、ビデオなどの映像で行うのでしょうか。

（東課長）具体的には、相手があるお話ですので交渉中ということもありますが、一つは成人の先輩として、地域活動を現在やっただいていての方にお話をいただける時間が持てないかで、もう一つはビデオ映像が好評でありますので、そういう工夫の中で地域の方にできるだけ登場していただく場面を映像でお届けできないかという２点で取組を進めている最中です。

（松尾委員）私も自分の成人式の時の記憶が大分薄れてきているのですが、対象者が市内在住者となっているのですが、例えば色々な事情で市外に出られた方などについては、今はどういう風になっているのでしょうか。

（東課長）資料の対象者数は、平成２４年１１月１日現在の住民基本台帳に載っているデータとしての人数で、基本的にはベースとなります。実際には、委員がおっしゃったとおり例えば、職場や学生とか様々な事情があり、現在石狩市民ではないという方もいらっしゃる部分については、基本的にはお受けをしているところでございます。事前に連絡いただきましたら、ご案内も送付いたしますし、当日お越しをいただくこともできる形にさせていただきます。

（松尾委員）旧交を温める場にもなってくると思いますので、よろしく願いいたします。

（中村委員長）他にご質問がないようですので、報告事項の①については、了解ということでよろしいですか。

異議なし

（中村委員長）ご異議なしと認め、報告事項の①を了解しました。

② 第５７回石狩市民文化祭の実施状況について

（中村委員長）②第５７回石狩市民文化祭の実施状況について、事務局から説明をお願いします。

（東課長）第５７回石狩市民文化祭の実施状況について、報告いたします。始めに、ご多用の中、委員の皆様にお越しいただきましたことにお礼を申し上げます。先ず、市民発表部門の内、展示部門につきましては、花川南コミセンで３日間行われまして、１階フロアでは、１，９８７名、２階フロアについては、１，２４３名にそれぞれご覧をいただいたところです。次に舞台部門では、１０月２０日・２１日の２日間花川北コミセンで実施したところですが、来場者については、残念ながら８６１名で、前年に比べて相当の減となったところです。この原因については、詳細はなかなか説明が難しい部分もありますが、参加団体の減少、特に子どもさんが多く出演するダンスの団体、また、バレエの団体がそれぞれ一つずつ不参加になったことが少なからず影響しているものと考えております。状況の分析については、市民文化祭実行委員会の中で慎重に議論がなされるものと考えておりますが、この減少が単年度のものなのかということも含め検証し、つなげてまいりたいと存じます。厚田・浜益会場ですが、厚田会場は、今月１１日の日曜日に浜益会場は、４日の日曜日にそれぞれ記載のとおり開催されました。厚田については、詩吟、樽川中学校吹奏楽部演奏、浜益については、日舞や詩吟などが花川地区から出向きまして、それぞれ日頃の成果を披露したところで、地域間の交流が図られているところです。クリスマスコンサート２０１２につきましては、記載のとおり１２月１５日の土曜日に実施する予定です。共催・協賛事業としまして、第２５回いしかり菊花展が１１月１日から３日までで出展数は、約７００鉢と記載のとおりです。また、協賛事業の第１５回オータムコンサートについては、７つの団体に参加いただきまして、盛況に終了したところです。以上です。

（中村委員長）ただいま、事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

（中村委員長）ご質問がないようですので、報告事項の②を了解ということでしょうか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、報告事項の②を了解しました。

③ 第13回石狩市民図書館まつりの開催結果について

(中村委員長) ③第13回石狩市民図書館まつりの開催結果について、事務局から説明をお願いします。

(板谷副館長) 第13回石狩市民図書館まつりの開催結果について、説明いたします。図書館まつりは、毎年秋の読書週間の時期に開催しているもので、今年は平成24年10月27日の土曜日、28日の日曜日の2日間、市民図書館本館を会場に開催しました。入館者数は、4,709人で昨年より若干減少しましたが、これは悪天候の影響があったのではないかと考えているところです。内容については、今年新たに取り組んだものの中からいくつか説明させていただきます。先ほど、教育長からお話がありましたが、市民図書館が今年初めて取り組んだ「調べる学習コンクール」の表彰式をオープニングセレモニーに続いて行い、たくさんの親子に来ていただきました。27日13時から、今年のテーマであります「動物」に因んで、円山動物園から飼育員を招き、円山動物園の見どころなど動物に関する講演を行っていただきました。それぞれの日の最後に記載していますが、最近注目されている電子書籍体験コーナーというものを両日設けたところです。また、当教育委員会に所属する4人のALTにもボランティアで協力をいただき、初日のお昼に英語でのおはなし会を行いまして、好評を博したところです。図書館まつりは、図書館に関わる7つの市民団体から選ばれた9人の運営委員により、開催までに7回の会議を行って、様々な検討を重ねて行っているものです。まさに市民図書館の名にふさわしい市民協働の事業といえると考えておりまして、これをきっかけに、より一層本の魅力に触れ親しんで欲しいと考えているところです。以上です。

(中村委員長) ただいま、事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

(土井委員) 資料を見る限りは、マジックショーの人气があったように思うのと、人形劇の人气があり、やはり子どもたちがたくさん来る催しが好評なようですね。

(中村委員長) 他にご質問がないようですので、報告事項の③を了解ということでよろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、報告事項の③を了解しました。

④ 平成24年度蔵書点検結果について

(中村委員長) ④平成24年度蔵書点検結果について、事務局から説明をお願いします。

(板谷副館長) 平成24年度蔵書点検結果について、ご報告します。蔵書点検は、実際の本の状況を把握し、図書館のデータに反映させ、利用者や職員が本を探しやすくして、快適に利用していただくために実施しています。実施日は、8月27日の月曜日から30日の木曜日までの4日間で、20人のボランティアの協力をいただいて行いました。不明点数は、蔵書数が増加したため、若干増えていますが、その率はまだ0.05%で、昨年度と変わっておりません。0.05%という数値は、かなり低い数字でありまして、当館利用者のモラルの高さの現れかと考えております。(3)の表は、点検後2年目以降を追跡調査したものです。蔵書点検後に見られたものの、見つけられたもの、返却などにより、実質の不明点数は、点検時の半分程度になっております。蔵書は貴重な財産ですので、快適なサービス環境に考慮しながら、今後も資料の点検に努めてまいりたいと存じます。以上です。

(中村委員長) ただいま、事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

(松尾委員) 不明率0.05%がかなり低い数値だという話がありましたが、平均的な数値はどのくらいなのか。

(板谷副館長) 参考に管内の数値をお知らせしたいと思います。江別市で0.12%、千歳市で0.2%、恵庭市で0.14%、北広島市が低くて、0.03%となっています。0.1%未満というのは、かなり低い数値と言ってよいかと考えております。

(松尾委員) 調査をかけても不明な本が一定程度出てしまう理由は、ある程度推察できるのですか。

(丹羽副館長) 理想を申し上げれば、1冊もなくならないのが一番望ましいと考えておりますが、図書館に毎日千人程度の方がいらっしゃって、鞆の持ち込みも自由ですし、それぞれ監視をしている訳ではありませんので、全くゼロにするの

は難しいことだと思います。管内の恵庭市や千歳市でも以前は非常に高い数字でした。それがかなり努力をして、下がってきていますけれど、他の市を見ますと2,000冊、3,000冊、所によっては一万冊無くなっている図書館もありますので、北海道の図書館は努力していると思います。当館が恵庭市、千歳市のようにならなかったのは、ブックディレクションという持ち出し防止装置があるということです。これは、不正持ち出しが行われた場合は、ブザーがなるというシステムですが、これをもってしても、100%は防げないという状況にあります。私も経験上、そのまま走って逃げられたこともありましたが、全くこちらで分からないうちに、切り取られて持って行かれる場合や、年に数回ですが、ゴミ箱に表紙が切り取られてある場合もあります。これからも努力してまいりたいと存じますが、図書館を自由に使っていただきたいところを大切にしておりますので、なかなかゼロにするのは難しいと思っています。

（松尾委員）お話を伺い、来館者の意識と図書館職員の努力により、この低い数値になっていることが分かりました。

（中村委員長）他にご質問がないようですので、報告事項の④を了解ということでよろしいですか。

異議なし

（中村委員長）ご異議なしと認め、報告事項の④を了解しました。

⑤ 平成24年度「いじめ根絶！メッセージコンクール」管内表彰について

（中村委員長）⑤平成24年度「いじめ根絶！メッセージコンクール」管内表彰について、事務局から説明をお願いします。

（西田センター長）平成24年度「いじめ根絶！メッセージコンクール」管内表彰について、報告します。目的は、記載のとおりですが、主催は、北海道いじめ・不登校等対策本部と札幌市「ケータイ・ネット」セーフティ推進協議会です。今回は、「石狩管内いじめ・不登校等対策本部」が主管となっております。対象は、石狩管内の青少年ということになります。メッセージの部門については、標語部門とポスター部門に分かれていまして、それぞれに小学校の部、中学校の部、高等学校の部と分かれています。石狩管内の応募数は、標語部門では、小・中・高あわせて、3,757作品、ポスター部門は、小・中・高の合計で69作品です。賞については、3つあり、教育局長賞が最優秀作品で、1作品になります。

次に、教育局の次長賞、これが優秀作品となります。その他奨励賞、佳作になります。こちらは3から5作品となります。石狩市の受賞者及び作品については、先ず、標語部門の小学校の部で、最優秀作品の教育局長賞に、花川南小6年生の中井朱花さんの作品が「そのいじめ 自分も人も 傷つける」が受賞されています。同じく小学校の部の佳作になります奨励賞では、花川南小6年生の松尾彩加さんの作品「悪口を 言われた気持ちを 考えて」が受賞されています。中学校の部では、佳作であります奨励賞に花川北中の2年生一谷優美花さんの作品「やめようよ そのひとことで 変わる未来」が受賞されています。ポスター部門の小学校の部で、佳作である奨励賞に南線小の4年生村上智彩さんと望来小4年生の向井優太さんが受賞されています。この後、それぞれの管内から集められた作品をもとに全道の審査がされましたが、残念ながら石狩市を含め、石狩管内からは作品は入選していません。選ばれましたそれぞれの作品は、「石狩管内いじめ・不登校等対策本部だより」や石狩教育局のホームページ等に掲載され、広く管内に紹介されることとなっています。また、それぞれの学校を通じ、学校だより等で周知されることになっています。以上です。

（中村委員長）ただいま、事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

（土井委員）このコンクールは、どういうスケジュールで進められているのですか。

（西田センター長）先ず、募集期間ですが、7月2日から8月31日まででした。管内でのホームページでの掲載時期は、承知しておりませんが、ポスターも含め市町村展示が現在検討されておまして、こちらについては、報告が来ましたら、委員の皆様にお知らせしたいと存じます。各学校での学校だよりでの周知については、4校とも今月の学校だよりでと聞いております。

（土井委員）これは毎年実施されているのですか。また、管内の審査は9月に実施されたのですか。

（西田センター長）本コンクールは、平成19年度から始まっております、19年度は、作文と標語で実施されておりました。現行の「いじめ根絶！メッセージコンクール」として標語とポスターを始めたのは、平成20年度からです。管内での審査は9月に行われましたが、主管である石狩管内いじめ・不登校等対策本部は、各市町村教育委員会もメンバーに入っておりますが、審査当日は市議会と重なりまして行くことができなかったのですが、その中で審査をされています。また、表彰は10月27日に行われました石狩管内道産子こども地区会議の中で「いじめ根絶！メッセージコンクール」の表彰式が行われております。教育局長

賞を受賞された本人と保護者の方が出席されています。

（土井委員）このコンクールについて、初めてお知らせいただいたと思うのですが、今回いじめの事件が発生したことを受けて、各学校での取組が進んだ結果の受賞だったのでしょうか。それとも、今までもこのように表彰を受けたことはあるのでしょうか。

（西田センター長）20年当時からコンクールが行われ、石狩市として佳作などに入選したこともありましたが、今回は管内での最優秀賞だったものですから、教育委員会会議に報告したところです。各小中学校での取組については、今回についても標語については、小学校3校の420作品、中学校では1校の118作品、ポスターについては、小学校2校で4作品という応募数でしたが、昨日行われました校長会におきましても、このお話をさせていただきまして、各学校の取組として来年度に向けて、お願いもさせていただきました。

（松尾委員）この取組が子どもたちにいじめということをよく考えてもらって、そういったことをなくそうという気持ちになってもらうような取組になることが大切かと思いますが、コンクールの募集に当たって、子どもたちにどのような働きかけをしているか分かればお聞きしたいのですが。

（西田センター長）このコンクールは7月から募集が始まり、市教委では各学校に取組をお願いしていますが、それぞれの学校で、どのように児童生徒に下ろしているのかまでは、詳細を掴んでいませんが、少なからず、間に夏休みもありますので、ここでの取組をさせていたりということもあると思いますし、特にこの活動を通じて、子どもたちにいじめをなくすという気持ちにさせるということが大事だということで、特に花川南小では学校だより以外にも、全校集会でこの賞についてもそうですが、改めていじめの根絶に向けての取組をやると学校側からも聞いておりますので、そういった輪が広がっていただけるよう周知を今後続けていきたいと存じます。

（松尾委員）こういうことがあった時に親として、思い切って子どもに言うべきか、さりげなく気づいてもらうようにするかというのは、現場の判断もあると思いますので、そういうことを必ずやってくれということではないのですが、趣旨が子どもたちに上手く伝わるようにやっていただけるとありがたいと思います。

（中村委員長）他にご質問がないようですので、報告事項の⑤を了解ということでよろしいですか。

異議なし

（中村委員長）ご異議なしと認め、報告事項の⑤を了解しました。

(中村委員長) 以上で、日程第5 報告事項を終了します。

日程第6 その他

(中村委員長) 次に、日程第6 その他を議題といたします。事務局からご質問ありませんか。

① 厚田小学校図書館の愛称について

(板谷副館長) 厚田小学校図書館に関する報告をさせていただきます。新しい厚田小学校の図書館は、12月10日にオープンいたしますが、その愛称を区内の児童から募集して先日決定しましたので報告させていただきたいと思います。応募点数は40点で、審査員は厚田小の校長、教頭、望来小の校長、聚富小の図書担当教諭、厚田童話を読む会の代表、厚田分館職員で行いました。最終的には、聞いただけで分かる、厚田に馴染みがある、長く親しんでもらえるなどの方向性からすべてひらがなで、「あいかぜとしょかん」という名前に決定したところです。この名前を応募した児童は3名で、その子たちには、12月10日のオープニングセレモニーの中で、感謝状と図書カードを贈る予定です。また、次点となった4名にも感謝状と図書カードを贈る予定です。この愛称は、この会議の後、広くPRしていくとともに、地域の方々の協力を得て図書館の外壁に看板を設置する予定です。以上です。

(中村委員長) ただいま、事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

なし

(中村委員長) ご質問がないようですので、その他の①を了解ということにより進みますか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、その他の①を了解しました。

(中村委員長) 委員の皆さんからございませんか。

なし

(中村委員長) 以上で、日程第6 その他を終了します。

日程第7 次回定例会の開催日程について

(中村委員長) 日程第7 次回定例会の開催日程を議題とします。

(中村委員長) 次回定例会については、12月21日の金曜日、13時30分からの開催を予定しております。よろしくお願い申し上げます。

(中村委員長) 以上をもちまして、公開案件は終了します。秘密会案件の説明員以外の方は、ご退席願います。

【秘密会】

(中村委員長) ただいまから、教育委員会会議規則第15条に基づき、秘密会を開催いたします。

日程第2 議案審議

議案第1号 平成24年度一般会計補正予算（第3号補正）について（秘密会）

(中村委員長) 議案第1号 平成24年度一般会計補正予算（第3号補正）について、提案願います。

(鎌田教育長) 議案第1号 平成24年度一般会計補正予算（第3号補正）について、今月30日開会の平成24年第4回石狩市議会定例会に提案するため、石狩市教育委員会事務委任規則第1条第4号の規定に基づき、議決を求めるものがあります。具体的内容につきましては、後ほど事務局から説明させますが、学校

の耐震化に係る工事費及び学校図書の購入費ということで、予定としておりますので、よろしくご審議をお願いいたします。

（百井部長）詳細内容を議案第１号により説明。

（中村委員長）ただいま、提案説明がありました議案第１号について、ご質問等ありませんか。

質疑応答省略

（中村委員長）他に質疑等がないようですので、議案第１号については、原案どおり可決ということによろしいですか。

異議なし

（中村委員長）ご異議なしと認め、議案第１号については、原案どおり可決しました。

（中村委員長）以上で、日程第２ 議案審議を終了します。

日程第４ 協議事項

① 平成２５年度教育委員会予算要求について

（中村委員長）協議事項① 平成２５年度教育委員会予算要求について、事務局から説明をお願いします。

（百井部長）協議事項①の当日配布資料により説明。

（中村委員長）ただいまの説明について、ご質問等ありませんか。

質疑応答省略

（中村委員長）他に質疑等がないようですので、協議事項①については、各委員

からの意見等を踏まえ、事務局で所要の検討をしていただくこととし、了解ということでよろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、協議事項①については、了解しました。

(中村委員長) 以上で、日程第4 協議事項を終了します。

閉会宣告

(中村委員長) 以上をもって、11月定例会の案件は全て終了いたしました。
以上で、平成24年度教育委員会会議11月定例会を閉会いたします。

閉 会 午後 5時05分

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成24年11月16日

委員長 中 村 照 男

署名委員 門 馬 富士子